

令和7年度  
シラバス

青翔開智高等学校

第3学年

# もくじ

論理国語	2
古典探究	3
国語演習	4
表現国語	5
地理探究	6
日本史探究	7
世界史探究	8
地理演習	9
日本史演習	10
世界史演習	11
公共演習	12
数学III	13
数学演習I	14
数学演習II	15
数学C	16
理科演習	17
物理	18
化学	19
生物	20
体育(男女合同)	21
体育(男女別)	22
英語演習	23
実戦英語I	24
実戦英語II	25
探究VI	26

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	国語	論理国語	2	必修	習熟度別

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評価の方法	ペーパーテスト・小テストなど	ペーパーテスト・成果物など	出席点・授業態度など		
教科書・教材	「論理国語」(筑摩書房)、「論理国語 学習課題ノート」(筑摩書房)、「新 共通テスト対策 決戦現代文完答22+6」(尚文出版)				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス ..... 単元①志望理由書 「自分の経験や考えを効果的に書いてみよう」 ..... 【知識・技能】言葉エ 志望理由書に効果的な段落の構造や論の形式など、構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考・判断・表現】書くエ 多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねる。	1 4	振り返り	
	単元②「ポピュリズムとは何か」「何のための「自由」か」 ..... 【知識・技能】言葉イ 学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにする。 【思考・判断・表現】読むオ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【思考・判断・表現】書くオ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味して文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する。	9	ペーパーテスト① 成果物	
	単元③「過剰性と稀少性」 ..... 【知識・技能】言葉ウ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考・判断・表現】読むア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。	9	ペーパーテスト②	
	単元④ 文学的文章 ..... 【知識・技能】言葉ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。	3	ペーパーテスト③	
2学期	問題演習 ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... .....	44	ペーパーテスト④	
	.....			
	.....			
	.....			
	.....			
	.....			
	.....			
	.....			
	.....			
	.....			
3学期	.....			
	.....			
	.....			
	.....			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	国語	古典探究	2	必修	習熟度別

<b>科目の目標</b>	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。	
<b>評価の方法</b>	ペーパーテスト	ペーパーテスト		振り返り	
<b>教科書・教材</b>	『古典探究 古文編』(筑摩書房)、『古典探究 漢文編』(筑摩書房)、『古典探究 準拠課題ノート』(筑摩書房)、『(三訂新版)共通テスト対策 古典完答22』(尚文出版)『Key & Point みるみる覚える古文単語300+単語30 三訂版』(いずな書店)、『読解を大切に 体系古典文法 九訂版』(数研出版)、『三訂版 体系漢文』(数研出版)				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス	1		
	単元①「雨月物語」	9	ペーパーテスト①	
	【思考・判断・表現】ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。			
	【知識・技能】言語文化ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深める。			
	単元②「無名抄」	7	ペーパーテスト②	
【思考・判断・表現】ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。				
【知識・技能】言葉ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、五感を磨き豊かにする。				
単元③「詩経大序」	5	ペーパーテスト③		
【思考・判断・表現】カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。				
【知識・技能】言葉ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。				
問題演習	4			
2学期	問題演習	44	ペーパーテスト④	
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	国語	国語演習	2	選択	選択

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、論理的、批判的に考える力を身につける。 国語で的確に文章や物事を理解し、効果的に表現する資質・能力を育成する。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	「書くこと」の領域において、社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ批評し合う活動を通して、自分の主張が的確に伝わるよう工夫している。 「読むこと」の領域において、同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動を通して、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。		
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト(論述)・レポート	ノート・レポート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など		
教科書・教材	適宜資料を配布				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	・ガイダンス	1		
	・評論のテーマに対する知識・概念の習得 演習問題を通して、評論の主要テーマに関わる知識や概念、社会背景を調べまとめる。	10	レポート①	
	・記述対策	10	ペーパーテスト①	
	・志望理由書対策 大学のアドミッションポリシーを調べた上で、求められている資質と自分の資質との比較を通して志望理由書を作成する。	5	レポート②	
2学期	・小論文・演習対策 小論文対策として時間内に一題書き上げ、翌時間で書き直しをする。入試対策として毎時間一問ずつ対策する。	44	ペーパーテスト② 小論文① ペーパーテスト③ 小論文②	
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	国語	表現国語	2	選択	選択

科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</li> <li>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> </ul>				
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。		
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など		
教科書・教材	「サクセス小論文テスト7」(桐原書店)				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス</li> <li>・評論のテーマに対する知識・概念の習得(言語・文化、思想等)</li> </ul> 演習問題を通して、評論の主要テーマに関わる知識や概念、社会背景を調べまとめる。	7	ペーパーテスト①	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志望理由書</li> </ul> 志望理由書の書き方について理解を深める	6		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文</li> </ul> 小論文の実践演習をとおして、適切に文章を読み取り、自分の主張を文章で表現する力を養う	13	ペーパーテスト②	
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志望理由書</li> </ul> 志望理由書の書き方について理解を深める。	10		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文</li> </ul> 小論文の実践演習をとおして、適切に文章を読み取り、自分の主張を文章で表現する力を養う。	10	ペーパーテスト③	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な入試</li> </ul> グループディスカッション・講義レポート型等、様々な形式の活動を通して、言語によって表現する力を養う。	10	ペーパーテスト④	
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	地理・歴史	地理探究	4	選択	選択

科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	地理に関わる諸事象に関して、規則性・傾向性を分析し、地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、「位置や分布」「場所」「人間と自然環境との相互依存関係」「空間的相互依存作用」「地域」の五つの観点に着目して多面的・多角的に考察したうえで、地理的な課題の解決に向けて構想し、それらを基に議論する力を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、課題を主体的に追究・解決しようとする態度とともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度を身につける。		
評価の方法	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など		
教科書・教材	二宮書店「地理探究」、二宮書店「詳解現代地図 最新版」、二宮書店「データブック オブ・ザ・ワールド 2024」、二宮書店「地理探究ワークブック」、帝国書院「新詳地理資料COMPLETE 2023」、実教出版「2025実戦攻略 地理総合・地理探究 大学入学共通テスト問題集」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	1-5-1 生活文化と言語・宗教	6	単元テスト①/成果物/学習の記録	
	1-5-2 国家とその領域	6	単元テスト②/成果物/学習の記録	
	2-1-1 現代世界の地域区分	2	成果物/学習の記録	
	2-2-1 中国 / 2-2-2 朝鮮半島	8	成果物/学習の記録	
	2-2-3 東南アジア / 2-2-4 南アジア	8	成果物/学習の記録	
	2-2-5 西アジア・中央アジア / 2-2-6 北アフリカ・サブサハラアフリカ	8	成果物/学習の記録	
	2-2-7 ヨーロッパ / 2-2-8 ロシア	8	成果物/学習の記録	
	2-2-9 アングロアメリカ	6	成果物/学習の記録	
	2-2-10 ラテンアメリカ	6	成果物/学習の記録	
2学期	2-2-11 オーストラリア / 2-2-12 ニュージーランドと島嶼国	4	成果物/学習の記録	
	共通テスト演習 / レポート作成(選択)	78	成果物/学習の記録	
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	地理・歴史	日本史探究	4	選択	選択

<b>科目の目標</b>	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	我が国の歴史の展開から課題を見出し国際環境と関連づけて多面的、多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の発展に対する関心と課題意識を高め、歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	
<b>評価の方法</b>	テスト・成果物など	テスト・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など	
<b>教科書・教材</b>	山川出版社「詳説日本史探究」、山川出版社「詳説日本史図録」			

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス	2		
	○武家社会の成長	10	レポート/成果物	
	○幕藩体制の成立	10	テスト/レポート/成果物	
	○幕藩体制の展開と動揺	10	レポート/成果物	
	○近代国家の成立	10	テスト/レポート/成果物	
	○二つの世界大戦とアジア	8	レポート/成果物	
	○まとめ	2		
2学期	ガイダンス			
	○占領下の時代	4	レポート/成果物	
	○高度経済成長の時代	4	レポート/成果物	
	○激動する世界と日本	4	レポート/成果物	
	個別最適学習 (面談を通して個々に目標設定を行い、必要な事項を調べ、考え、表現する時間とする。自らの進路に関連することや社会課題などのあらゆる事象を3年間学んできた、歴史学・政治学・経済学・地理学・社会学といった多角的な視点から考察し、自らの考えを深め構築する。)	76		
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	地理・歴史	世界史探究	4	選択	選択

<b>科目の目標</b>	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>		
	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、比較や相互の関連、現代世界とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察し、効果的に説明し、それらを基に議論する力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		
<b>評価の方法</b>	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察など		
<b>教科書・教材</b>	帝国書院「新詳 世界史探究」、帝国書院「最新世界史図説 タペストリー 二十二訂版」、帝国書院「新詳 世界史探究 演習ノート」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	3-1 ユーラシア大交流圏の成立(1節～2節)(復習)	6		
	3-2 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出(復習)	6		
	3-3 主権国家体制の成立と交易の拡大	10	ペーパーテスト/成果物/学習の記録	
	4-1 環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生	10		
	4-2 イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	10		
	4-3 世界の一体化の進展とアジアの変容	10	ペーパーテスト/成果物/学習の記録	
	4-4 世界の一体化の完成とその影響	10		
	探究課題「世界大戦前夜～人々はいかにして戦争へと向かったのか～」	6	成果物など	
	4-5 世界大戦の時代	10		
	4-6 戦後の国際秩序と冷戦	10	ペーパーテスト/成果物/学習の記録	
2学期	5-1 冷戦の展開と平和の模索	12		
	5-2 グローバル化する国際経済とその課題	10		
	5-3 情報と科学技術によって結びつく世界	10	ペーパーテスト/成果物/学習の記録	
	探究課題「SDGsを考える世界史」	12	成果物など	
	ケーススタディ「現代の諸課題を考える」	8		
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	地理・歴史	地理演習	2	選択	選択

<b>科目の目標</b>	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	地理に関わる諸事象に関して、規則性・傾向性を分析し、地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、「位置や分布」「場所」「人間と自然環境との相互依存関係」「空間的相互依存作用」「地域」の五つの観点に着目して多面的・多角的に考察したうえで、地理的な課題の解決に向けて構想し、それらを基に議論する力を身につける。		地理に関わる諸事象に関して、課題を主体的に追究・解決しようとする態度とともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度を身につける。	
<b>評価の方法</b>	レポート・成果物など	論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など		クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など	
<b>教科書・教材</b>	二宮書店「地理探究」、二宮書店「詳解現代地図 最新版」、二宮書店「データブック オブ・ザ・ワールド 2024」、二宮書店「地理探究ワークブック」、帝国書院「新詳地理資料COMPLETE 2023」、実教出版「2025実戦攻略 地理総合・地理探究 大学入学共通テスト問題集」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	共通テスト演習	2	成果物／学習の記録	
	系統地理演習①(自然・防災・地図)	6	成果物／学習の記録	
	系統地理演習②(資源・産業)	6	成果物／学習の記録	
	系統地理演習③(交通・通信・観光・貿易)	4	成果物／学習の記録	
	系統地理演習④(人口・村落・都市)	4	成果物／学習の記録	
	系統地理演習⑤(生活文化～国家)	4	成果物／学習の記録	
	個別最適学習 (面談を通して個々に目標設定を行い、必要な事項を調べ、考え、表現する時間とする。自らの進路に関連することや社会課題などのあらゆる事象を3年間学んできた、歴史学・政治学・経済学・地理学・社会学といった多角的な視点から考察し、自らの考えを深め構築する。)	44	成果物／学習の記録	
2学期				
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	地理・歴史	日本史演習	2	選択	選択

<b>科目の目標</b>	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	我が国の歴史の展開から課題を見出し国際環境と関連づけて多面的、多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。		我が国の歴史の発展に対する関心と課題意識を高め、歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	
<b>評価の方法</b>	レポート・成果物など	レポート・成果物など		クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など	
<b>教科書・教材</b>	山川出版社「詳説日本史探究」、山川出版社「詳説日本史図録」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス	1	作品の制作	
	古代文化史演習	6	成果物	
	中世文化史演習	6	レポート／成果物	
	近世文化史演習	6	レポート／成果物	
	近現代、現代文化史演習	7	成果物	
	個別最適学習 (面談を通して個々に目標設定を行い、必要な事項を調べ、考え、表現する時間とする。自らの進路に関することや社会課題などのあらゆる事象を3年間学んできた、歴史学・政治学・経済学・地理学・社会学といった多角的な視点から考察し、自らの考えを深め構築する。)	44	レポート／成果物	
2学期				
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	地理・歴史	世界史演習	2	選択	選択

科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、比較や相互の関連、現代世界とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察し、効果的に説明し、それらを基に議論する力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		
評価の方法	レポート・成果物など	論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察など		
教科書・教材	帝国書院「新詳 世界史探究」、帝国書院「最新世界史図説 タペストリー 二十二訂版」、帝国書院「新詳 世界史探究 演習ノート」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	古代・中世演習	12	演習ノート進捗/成果物/学習の記録	
	近代・現代演習	14	演習ノート進捗/成果物/学習の記録 単元レポート	
2学期	個別最適学習 (自己調整学習の一環として、個々に目標設定を行い、必要な事項を調べ、考え、表現する時間とする。自らの進路に関連することや社会課題などについて、世界史的視点から考察し、社会の諸課題についての理解を深めていく。)	44	成果物/学習の記録	
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	公民	公民演習	2	選択	選択

科目の目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	○現代社会の政治、経済、社会、国際関係、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身に付けているか。また、学び方を身に付けているか。	○現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄から課題を見いだし、広い視野から多面的、多角的に考察している。 ○課題について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	○現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に追究している。 ○社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けている。 ○平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けている。		
評価の方法	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察など		
教科書・教材	実教出版「最新政治・経済」、実教出版「最新政治・経済演習ノート」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	第一編			
	1章 現代国家と民主政治	8		
	2章 日本国憲法と基本的人権	10		単元レポート①
	3章 日本の政治制度と政治参加	8		
	第二編			
2学期	1章 現代の経済社会	10		単元レポート② 成果物
	2章 現代の日本経済と福祉の向上	8		
	第三編			
	1章 日本経済のあゆみとこれから	8		単元レポート③
	第2部 第一編			
2学期	1章 国際政治の動向と課題	8		
	第二編			
	1章 国際経済理論	2		
	2章 国際経済の動向と課題	8		単元レポート④ 成果物
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	数学	数学Ⅲ	4	選択	選択

科目の目標	(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の方法	単元テスト	単元テスト、提出物など	提出物、授業態度など		
教科書・教材	教研出版「改訂版 数学Ⅲ」、河合塾出版「J」シリーズ 2025年度共通テスト直前対策問題集 数学ⅠA、河合塾出版「J」シリーズ 2025年度共通テスト直前対策問題集 数学ⅡBC」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	数学Ⅲ 第3章 微分法	8	ペーパーテスト①	
	数学Ⅲ 第4章 微分法の応用	12		
	数学Ⅲ 第5章 積分法	10		
	数学Ⅲ 第6章 積分法の応用	15	ペーパーテスト②	
2学期	総合演習	95	ペーパーテスト③	
			ペーパーテスト④	
			ペーパーテスト⑤	
3学期			ペーパーテスト⑥	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	数学	数学演習 I	2	選択	

<b>科目の目標</b>	「数学 I」「数学 II」「数学 A」「数学 B」での学習を基に、総合的な数学的な見方や考え方にさらに深めるとともに、それらを事象の考察に活用する。		
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	各単元において、基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことについて、全体を通して質的な向上を目指す。
<b>評価の方法</b>	ペーパーテスト	ペーパーテスト	授業態度・出席率
<b>教科書・教材</b>	河合塾出版「J」シリーズ 2025年度共通テスト直前対策問題集 数学 I A, 数研出版「新課程 大学入学共通テスト対策 数学I・A+II・B・C 上級演習 PLAN 120」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	共通テストに向けての数学 I Aの基礎・標準問題の演習	26		
				単元テスト①
2学期	共通テストに向けての数学 I Aの基礎・標準問題の演習	44		
				単元テスト②
3学期				
				単元テスト③

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	数学	数学演習Ⅱ	2	選択	

<b>科目の目標</b>	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」での学習を基に、総合的な数学的な見方や考え方にさらに深めるとともに、それらを事象の考察に活用する。		
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	各単元において、基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことについて、全体を通して質的な向上を目指す。
<b>評価の方法</b>	ペーパーテスト	ペーパーテスト	授業態度・出席率
<b>教科書・教材</b>	河合塾出版「J」シリーズ 2025年度共通テスト直前対策問題集 数学ⅡBC, 数研出版「新課程 大学入学共通テスト対策 数学Ⅰ・A+Ⅱ・B・C 上級演習 PLAN 120」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	共通テストに向けての数学Ⅱ・B・Cの基礎・標準問題の演習	26	
			単元テスト①
2学期	共通テストに向けての数学Ⅱ・B・Cの基礎・標準問題の演習	44	
			単元テスト②
3学期			
			単元テスト③

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	数学	数学C	2	選択	

科目の目標	(1)ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト	授業態度・出席率
教科書・教材	教研出版「高等学校 数学C」、河合塾出版「J」シリーズ 2025年度共通テスト直前対策問題集 数学ⅠA、河合塾出版「J」シリーズ 2025年度共通テスト直前対策問題集 数学ⅡBC		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	複素数平面	16		
	進路に応じた演習	10		単元テスト①
2学期	進路に応じた演習	44		
				単元テスト②
3学期				単元テスト③

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	理科	理科演習	2	選択	選択

<b>科目の目標</b>	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心または生物や生物現象への関心を高めるとともに、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的・生物的に探究する能力と態度を育て、化学生物の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得している。</li> <li>それら月の過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。</li> <li>化学の基本的な概念や原理・法則を理解できる。</li> <li>化学の事物・現象を化学的に探究する方法を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物や生物現象の中に問題を見いだしている。</li> <li>探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>化学的な事物・現象に課題を見いだし、事象を化学的に考察して判断し、表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。</li> <li>生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。</li> <li>化学の基本的な概念や原理・法則と、日常生活や社会との関連を見いだし、化学的に探究しようとする態度を身につけている。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
<b>教科書・教材</b>	第一学習社「高等学校 改訂 生物基礎」、第一学習社「改訂 化学基礎」、浜島書店「改訂版 つかむ生物基礎」、浜島書店「改訂版 つかむ化学基礎」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	生物基礎各編の問題演習	7	ペーパーテスト①② レポート① 実技(観察・実験・作図など) 発表 グループ活動 生徒による自己評価/相互評価 教員による行動観察
	化学基礎各編の問題演習	7	
	生物基礎各編の問題演習	7	
	化学基礎各編の問題演習	9	
2学期	生物基礎全編に関わるマーク式問題演習①	8	ペーパーテスト③④ レポート② 実技(観察・実験・作図など) 発表 グループ活動 生徒による自己評価/相互評価 教員による行動観察
	化学基礎全編に関わるマーク式問題演習①	8	
	生物基礎全編に関わるマーク式問題演習②	8	
	化学基礎全編に関わるマーク式問題演習②	8	
	化学基礎・生物基礎ランダム演習	8	
3学期			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	理科	物理	3	選択	選択

科目の目標	物理的事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、物理的な自然観を育成する。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>・観測・実験を行い、基本操作を習得している。</li> <li>・それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象の中に問題を見いだしている。</li> <li>・探究する過程を通して、事象を物理的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究している。</li> <li>・科学的態度を身に付けている。</li> </ul>		
評価の方法	ペーパーテストなど	ペーパーテスト・実験レポートなど	生徒による自己評価/相互評価等の活用・実験レポートなど		
教科書・教材	啓林館「物理基礎改訂版」、啓林館「高等学校 物理」、啓林館「物理Aセット」、教研出版「大学入学共通テスト対策チェック&演習物理」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	第3部 波 第1章 波の性質 ① 正弦波の表し方 ② 波の表し方	3		
		3		
	第2章 音 ① 音の性質 ② ドップラー効果	3		
		3		
	第3章 光 ① 光の性質 ② レンズと球面波 ③ 光の回折と干渉	3		
		3		
		3		
	第4部 電気と磁気 第1章 電界と電位 ① 静電気 ② 電界 ③ 電位 ④ コンデンサー	3		
		3		
	第2章 電流 ① 電流 ② 直流回路 ③ 半導体	3		
		3		
	2学期	第3章 電流と磁界 ① 磁気力と磁界 ② 電流が作る磁界 ③ 電流が磁界から受ける力 ④ ローレンツ力	3	
		3		
第4章 電磁誘導と電磁波 ① 電磁誘導の法則 ② 磁界中を運動する導体棒 ③ 自己誘導と相互誘導 ④ 交流 ⑤ 電気振動と電磁波		3		
		3		
第5部 原子・分子の世界 第1章 電子と光 ① 電子の電荷と質量 ② 光の粒子性 ③ X線 ④ 粒子の波動性		3		
		3		
		3		
第2章 原子・原子核・素粒子 ① 原子モデル ② 原子核と放射線 ③ 核反応と核エネルギー ④ 素粒子と宇宙		3		
		3		
終章 物理学が築く未来		3		
総合問題演習 (二次試験対策・マーク問題演習)		21		
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	理科	化学	3	選択	選択

科目の目標	物質と変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質と変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質と変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質と変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	実験レポートの記述・TSLの振り返り・ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	高等学校 化学(第一学習社)、セミナー 化学基礎+化学(第一学習社)、新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 化学(教研出版)、オリジナルテキスト		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	第III章 無機物質 第1節 周期表と元素の性質 ①元素の分類と性質 ②化合物の性質と周期表	2	授業への取り組み
	第2節 非金属元素 ①水素 ②貴ガス ③ハロゲン ④酸素と硫黄 ⑤窒素とリン ⑥炭素とケイ素 ⑦無機化学工業	6	授業への取り組み
	第3節 典型金属元素 ①アルカリ金属 ②アルカリ土類金属 ③両性を示す典型元素	6	授業への取り組み
	第4節 遷移元素 ①遷移元素 ②鉄 ③銅 ④銀 ⑤亜鉛 ⑥クロムとマンガン ⑦金属イオンの定性分析	6	授業への取り組み
	第IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴 ①特徴と分類 ②構造式の決定	6	授業への取り組み
	第2節 脂肪族炭化水素 ①飽和炭化水素 ②不飽和炭化水素	8	授業への取り組み
	第IV章 有機化合物 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 ①アルコールとエーテル ②アルデヒドとケトン ③カルボン酸とエステル ④油脂とセッケン	10	授業への取り組み
	第4節 芳香族化合物 ①芳香族炭化水素 ②酸素を含む芳香族化合物 ③窒素を含む芳香族化合物 ④芳香族化合物の分離	8	授業への取り組み
	第V章 高分子化合物 第1節 高分子化合物 ①高分子化合物の特徴	1	授業への取り組み
2学期	第V章 高分子化合物 第2節 天然高分子化合物 ①単糖・二糖 ②多糖 ③アミノ酸 ④タンパク質 ⑤核酸	12	授業への取り組み
	第3節 合成高分子化合物 ①合成高分子化合物の特徴 ②合成繊維 ③合成樹脂 ④機能性高分子化合物 ⑤ゴム	12	授業への取り組み ペーパーテスト② (第IV章～第V章)
	終章 化学の築く未来 1. 世界の食糧を支えるアンモニア 2. 医薬品の開発 3. 合成高分子化合物の開発 4. 現代の化学を支える機器分析 5. 持続可能な社会を目指して	2	授業への取り組み
	総合問題演習(二次試験対策・マーク問題演習)	26	授業への取り組み
3学期			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	理科	生物	3	選択	選択

科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	実験レポートの記述・TSLの振り返り・ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	高等学校 生物(啓林館)、新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習生物(数研出版)、オリジナルテキスト		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	第4部 生物の環境応答 第11章 動物の行動 第1節 生得的行動 第2節 学習 第12章 植物の環境応答 第1節 植物の生殖と発生 第2節 発芽と成長	20	授業への取り組み
	第5部 生態と環境 第13章 個体群と生物群集 第1節 個体群とその変動 第2節 種内環境 第3節 種間関係	20	授業への取り組み ペーパーテスト①(第11章～第13章)
	総合問題演習(マーク問題演習)	10	授業への取り組み
2学期	第5部 生態と環境 第14章 生態系 第1節 生態系と物質 第2節 生態系と人間生活	18	授業への取り組み ペーパーテスト②(第14章)
	総合問題演習(二次対策を中心とし、適宜マーク問題演習)	37	授業中の取り組み
3学期			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	体育・保健	体育(男女合同)	2	必修	学年

<b>科目の目標</b>	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。				
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>		
	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。		
<b>評価の方法</b>	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等		
<b>教科書・教材</b>	大修館書店「アクティブスポーツ」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	8	・新体力テスト結果等	
	【球技1】ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃による攻撃とその守備)	12	・実技テスト ・授業態度	
	【球技2】ネット型「バレーボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パス、サーブ、アタック、攻撃と守備の原則の理解)	12	・実技テスト ・授業態度	
2学期	【球技3/体育理論】ゴール型「バスケットボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	19	・実技テスト ・授業態度	
	【陸上】 ・走運動(短距離走、中・長距離走、リレー)	19	・実技テスト ・授業態度	
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	体育・保健	体育(男女別)	1	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等		
教科書・教材	大修館書店「アクティブスポーツ」				

年間学習計画					
学期	学習内容		時数	主な評価方法	
	男子	女子		男子	女子
1学期	【球技2】ゴール型「サッカー」 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。	【球技1/体育理論】ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム (パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	12		単元テスト① ・実技テスト ・授業態度
	【球技1/体育理論】ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム (パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	【球技2】ゴール型「サッカー」 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。	5  6		・実技テスト ・授業態度
2学期	【選択】 ○ネット型「バドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム (グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て) ○ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム (グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	【選択】 ○ネット型「バドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム (グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て) ○ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム (グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	12		・単元テスト② ・実技テスト ・授業態度
3学期					

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	外国語	英語演習	6	必修	習熟度別

科目の目標	英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと(やりとり・発表)」、「書くこと」の言語活動及び統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。また、それぞれが自己の学びを振り返り、目標を設定し英語の知識・技能を身につける学びを進めることができる。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細を話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自らの学習を調整し、主体的に学びに向かおうとしている。		
評価の方法	単元テスト	単元テスト	授業中の取り組み 自己調整プリント		
教科書・教材	文英堂「英語長文演習シリーズSWITCH 4」、文英堂「解法パターンが見てわかる 共通テストリーディング対策問題集 Reading Sparkle Advanced」、文英堂「Listening Sparkle Advanced【改訂版】」、河合塾出版「シリーズ 2025年度共通テスト直前対策問題集英語リーディング」、河合塾出版「シリーズ 2025年度共通テスト直前対策問題集 英語リスニング」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	リスニング演習	26		
	リーディング演習	26	単元テスト①	
	長文読解、記述演習	26	単元テスト②	
2学期	リスニング演習	30	単元テスト③	
	リーディング演習	30		
	長文読解、記述演習	30	単元テスト④	
	個別演習	42		
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	外国語	実践英語I	1	選択	選択

科目の目標	① 筆者・出題者と共感し、出題者の意図を理解することができる。 ② 単語・イディオム・文法・構文に気づき、正しく理解することができる。 ③ 英作文を書く際の基本事項を理解し、より英語らしい文章を書くことができる。 ④ 各自の進路目標実現のため、それぞれが自己の学びを振り返り、目標を設定し英語の知識・技能を身に付ける学びを進めることができる。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。 これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細を話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自らの学習を調整し、主体的に学びに向かおうとしている。
評価の方法	単元テスト	単元テスト	授業中の取り組み 単元におけるリフレクション
教科書・教材	Z会「英語長文読解 プラクシス Level 3」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	プラクシス STAGE1 No.1-No.7 精読と解答力を身につける	13	単元テスト①
2学期	プラクシス STAGE3 No.1-No.7 個別演習	15 7	単元テスト②
3学期			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	外国語	実践英語II	1	選択	選択

科目の目標	① 筆者・出題者と共感し、出題者の意図を理解することができる。 ② 単語・イディオム・文法・構文に気づき、正しく理解することができる。 ③ 英作文を書く際の基本事項を理解し、より英語らしい文章を書くことができる。 ④ 各自の進路目標実現のため、それぞれが自己の学びを振り返り、目標を設定し英語の知識・技能を身に付ける学びを進めることができる。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。 これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細を話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自らの学習を調整し、主体的に学びに向かおうとしている。		
評価の方法	単元テスト	単元テスト	授業中の取り組み 単元におけるリフレクション		
教科書・教材	教研出版「四訂版 入試必携英作文 Write to the Point」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	1. 主語の決定(1)	1	単元テスト①	
	2. 主語の決定(2)	1		
	3. 目的の表現	1		
	4. 理由の表現	1		
	5. 時制(1)	1		
	6. 時制(2)	1		
	7. 動詞の語法	1		
	8. 関係代名詞・関係副詞	1		
	9. 時間の表現	1		
	過去問演習	4		
	2学期	10. 数字の表現		1
11. 仮定・条件の基本		1		
12. 仮定・条件の応用		1		
13. 比較の基本		1		
14. 比較の応用		1		
15. 譲歩の表現		1		
16. 重要表現(1)		1		
17. 重要表現(2)		1		
18. Aは・・・だ		1		
自由英作文(入試問題)		6		
長文英作文(入試問題)	7			
3学期				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校3年	総合的な探究の時間	探究VI	2	必修	学年

科目の目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次の通り育成する。 (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できたか。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養えたか。
評価の方法	探究活動の成果物(アイデアの試作品や発表会の内容)と成果物作成までの過程(チームでの取り組み状況等)から総合的に評価する。		
教科書・教材	玉川大学出版部「学びの技」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	○探究修了論文執筆	20		
	論文執筆			
2学期	○ディスカッションを通して知識と知識を繋げよう ガイダンス	2		
	ディスカッションとは何か	2		
	目的を明確にする	2		
	目的に沿った内容の構築	2		
	質問を考えよう	2		
	意見を述べよう	2		
	背景にある学問を考えよう	2		
	異なる視点を考えよう	2		
	ディスカッションの結果を構造化しよう	2		
	活動まとめ	2		
3学期	○6年間(3年間)の探究活動をまとめよう(動画作成)	2		
	動画のコンセプトを考える	2		
	動画の内容を考える	2		
	絵コンテの作成	2		
	動画作成	4		
	動画作成			
	動画共有会	4		
	振り返り	14		